

公共下水道で105億円節約せよ

質問

公共下水道事業は、ひとつ間違えれば多額の借金を背負う事業だ。

生活污水处理は、合併浄化槽がもっとも安いことは従来から言われている。民主党の事業仕分けでも「低コストで整備できる合併浄化槽へのシフトを促進させ、予算を削減すべき。工事対象地域の見直しや工事単価の縮減に努めるべき」としている。

市の公共下水道工事は平成44年まで4期に分けて実施され、2期目以降については具



吉川三津子 議員

スト負担を考え、計画の見直しをすべき時期である。

国からの補助金は今までどおり来るのか。国の方針について伺う。

上下水道部長

補助金が交付金に変わったが、詳細情報は入手していない。

質問

下水道事業は、全国の自治体の財政を大きく圧迫している。事業債残高のうち、下水道事業債は5割を超え、污水处理に係る経費の約4割が一

般会計から補てんされている。接続率80%の時点で、愛西市は年間幾ら一般会計から補てんする予定か。

上下水道部長

80%の安定期の試算はしていない。平成15年から44年までに167億円の起債と87億円の利息。計254億円の負担を予定している。

質問

平成22年度以降の公共下水道対象世帯数(約1万5千世帯)を合併浄化槽で整備した場合、総コストはいくらか。

下水道課長

そこまで試算していない。

質問

私の試算では、公共下水道より合併浄化槽のほうが、105億円安くつく結果を得た。

県が関係している事業だからと安易に便乗していけば、市民に多大な損害を与えることになる。市が困っても県は助けてくれない。市自身が評価しながら取り組むべきでは。

副市長

十分なコミュニケーションをしていなくて、明解な答弁が

できなくて申し訳ない。本日をきっかけにいろんなパターンを想定し試算をしていく。

住まいの近くで告別式を

質問

火葬場は必要、セレモニーホールは要らないという考えは今も変わらないが、市民のみなさんからの声を代弁して問う。総合斎苑建設後も佐織地区コミュニティセンターを告別式に利用できるようにし

てほしいとの声が多い。市の方針を尋ねる。

企画部長

総合斎苑利用推進のPRはしていくが、佐織地区のコミュニティセンターは、今までどおり利用してもらえればよい。

